

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

P2 運用状況をチェック!

P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください

P4 企業との対話、SEEDCap情報等、コモンズの活動はこちらをご覧ください

【新年度を迎えて】

今年も桜の季節を迎え、職場や家庭で気持ちを新たに迎える方々も多いことと思います。

我が家も一人娘が大学生になりましたが、コモンズ30ファンドを活用した“こどもトラスト”での積み立てが想像以上に積み上がり、家計としてもとても助かっています。また、いずれ、就職活動するときには、長期的な成長が期待されるコモンズ30ファンドの投資先企業を第一に考えてくれたらな、と思ったりしています。

さて、先月はコモンズ30ファンドの8周年イベントを開催することが出来ました。投資先企業からはユニ・チャームの高原社長はじめ、東レ、日東電工のIR(株主向け広報)の責任者の方々にもお越しいただき、受益者でもあるお客さまと有意義な対話を行っていただきました。アンケートも全部、拝読させていただきましたが、嬉しい内容ばかりでした。改めて感謝申し上げます。なお、当日、参加できなかった方には、弊社ホームページの「8周年イベントレポート」<http://www.common30.jp/8th/>のコーナーを是非、ご覧ください。

新年度を俯瞰しますと、世界的な景気循環が好転局面を迎えている一方で、リスク要因は4月のフランス大統領選挙をはじめとする欧州の政治・経済問題、米国の政策運営、中国をはじめとする新興国経済、朝鮮半島を含めた地政学的なリスクなどと多くなっており、不確実性は高いと思われます。昨年度も同様に不確実性が高かった一年でしたが、コモンズ30

ファンドの投資先の企業の中では、ディスコ+77.5%、東京エレクトロン65.7%、信越化学65.6%、コマツ51.4%、堀場製作所42.1%、旭化成41.9%、日東電工+37.5%ダイキン工業33.0%と大きく値上がりした銘柄も多くありました(30%以上の値上がりを抽出)。いずれの銘柄も長期に保有を続けてきた企業ばかりです。今年度も、投資先企業は外部環境の変化をチャンスととらえ、長期的な視点で企業価値の向上に取り組んでくれることでしょう。

新年度入りは、ご自身の生活設計を見直される良い時期です。皆さまにおかれましても、長期的な視点に立って将来の夢の実現、不安の解消に向けて資産形成をはじめてみませんか?コモンズ投信は、そんな前向きな皆さまを少しでもサポート出来たらと考えています。

「コモンズ30ファンド」に引き続き、よろしくお願い申し上げます。

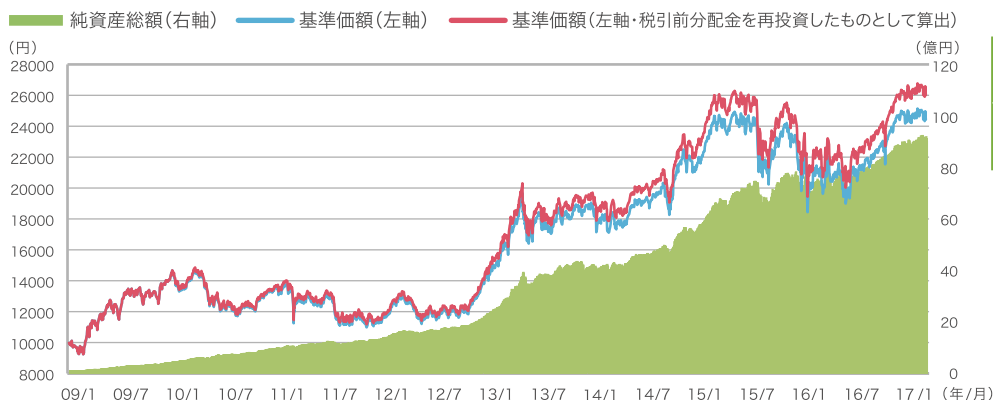
渋澤と伊井の「今月の想い」



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長
伊井 哲朗

※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移



ファンドのデータ

(2017年3月31日付)

基準価額	24,351円
純資産総額	8,986百万円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30ファンドの費用」をご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

(2017年3月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
▲0.63%	1.07%	12.53%	17.72%	36.41%	96.23%	159.26%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

分配実績

第4期 (2013年1月18日)	第5期 (2014年1月20日)	第6期 (2015年1月19日)	第7期 (2016年1月18日)	第8期 (2017年1月18日)	設定来累計
200円	200円	220円	0円	240円	1,110円

運用状況

◎運用レビュー

3月のファンドの月間リターンは0.63%の下落となりました。

◎3月の個別銘柄リターン

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「東京エレクトロン(+8.43%)」、「コマツ(+7.05%)」、「ユニ・チャーム(+5.64%)」となりました。東京エレクトロンは、国内外の政治が不透明ななか、政策に影響されない成長期待の高い銘柄として評価されました。コマツは、米国の今後の利上げが緩やかなペースにとどまるとの見方のなか新興国からの資金流出懸念が後退、新興国や資源関連銘柄への成長期待が高まりました。ユニ・チャームは、米国の保護主義的政策の懸念で、米国ではなく中国や新興国で稼ぐ企業として注目されました。

一方、下位3銘柄は、「日東電工(▲9.07%)」、「エーザイ(▲8.52%)」、「カカコム(▲6.60%)」となりました。日東電工は、為替感応度が高く、110円/ドル台まで進行する円高で業績悪化懸念が台頭しました(会社側の2016年度第4四半期の為替前提は115円/ドル)。エーザイは、トランプ米大統領の薬価引き下げの意向を示すツイートで米株式市場において薬品株が下落、日本の大手薬品株にも売りが波及しました。カカコムは、購買支援サイト「価格.com」の不振による利益成長力の鈍化が嫌気されています。

○運用責任者メッセージ

3月の内外金融市場は、いわゆるトランプ・ラリーの巻き戻しが随所に見られました。トランプ・ラリーは、税制改革、財政出動、規制緩和をテーマに、米国株高、米国金利上昇、それに伴う新興国からの資金流出が起こったので、その修正が行われたわけです。オバマケア見直し法案の撤回もありましたが、大幅修正して可決されたとしても市場は失望していたと思われますので、同法案の撤退自体が大きな要因とは考えていません。トランプ・ラリーの始まった昨年11月は、日本株は米国株以上に上昇し、円安も進みました。日本株の上昇が修正され、円安が修正されたのもこの一連の流れだと考えています。

さて、国内では新年度を迎えたわけですが、当面の国内株式市場は上値の重たい展開になりそうです。フランス大統領選挙や米国政権運営、北朝鮮を含む地政学的なリスクを市場は意識すると思われるからです。当ファンドにおきましては、こうした環境下でも長期的に企業価値を高めていける企業に投資を続けています。今年度も最高益を出す企業、上場来高値を更新する企業が出てくると思っています。どうぞ、引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◎投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋谷健、糸島孝俊、鎌田聡、上野武昭、末山仁 / ○は最高運用責任者

●組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。

コモンズ投信「ESG最高責任者」新設についてのお知らせ

4月1日付で「ESG最高責任者」が新設され、取締役会長の渋澤が就任しました。なお、今回の措置で運用方針が変わることはありません。以下、渋澤からのメッセージです。

コモンズ投信のファンドは、ESG(環境・社会・ガバナンス)ファンドではありませんが、この要素は、特にコモンズ30ファンドが投資対象とする企業の持続的な価値創造には不可欠です。世界でESG投資への意識が広まっている現在において、コモンズ投信は企業との「対話」を深化する重要なツールとしてESGの精鋭化を図る狙いで新たな役職を設置いたしました。具体的には、私が議決権行使における最終判断の責任者となります。議決権行使についてはガイドラインの設置により、コモンズ投信の運用方針が明確化される一方、その行使が機械的になるのを防ぐため、投資委員会メンバーとの議論を踏まえ、その最終判断を私が行うということです。

また、コーポレート・ガバナンスの形式に留まらず、本質を追求することによって、投資先企業の長期的な価値向上を受益者の長期的な資産形成へつなげることに務める次第です。さらには、投資先企業のみならず、コモンズ投信自身のESGの取り組みも重要事項です。ESG最高責任者として「今日よりも、よい明日」を導く基盤構築に務めます。

コモンズ投信 取締役会長兼ESG最高責任者
渋澤 健

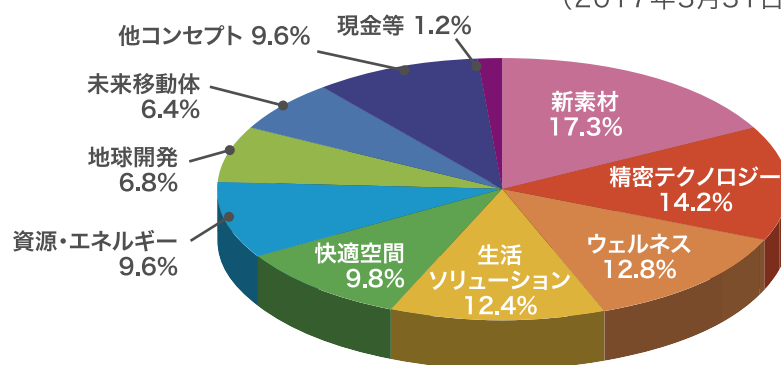
ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	98.8%	0.3%
現金等	1.2%	▲0.3%
構成銘柄	30社	±0社

●ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

未来コンセプト別構成比

(2017年3月31日付)



組入上位10銘柄

(2017年3月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku, 世界を代表する精密加工装置メーカー
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる
6869	シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー
6586	マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる
3407	旭化成	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業転換を続ける伝統企業
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

新規組入投資先

なし

今月のピックアップ！

3月は東京エレクトロンの株価が8.43%と大幅に上昇しました。国内外の政治が不透明なか、政策に影響されない成長期待の高い銘柄として注目されています。米マイクロン・テクノロジーの好決算発表、米アップルの新型スマートフォン用半導体チップの量産開始、などが伝わり、半導体市場のモメンタムが強まっていることも株価のプラス材料となりました。

半導体需要は、現状、スマートフォン向けやデータセンター向けが伸びています。今後は、あらゆるモノがインターネットにつながる‘IoT’の広がりによる需要の押し上げも期待されます。中期的にも半導体需要が増加する見込みのなか、半導体設備投資の拡大が続いています。同社は、2015年度からの中期経営計画で、2019年度に営業利益で1450～2250億円(2016年度計画1400億円)を目標としています。5月末頃に中計のローリングプランを公表する予定ですが、目標の改定があるのかどうか注目されます。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

企業との対話

ユニ・チャーム株式会社代表取締役社長執行役員 高原豪久氏
「人間の生涯に寄り添う商品をつくりグローバルに展開する」

去る3月11日に開催した同イベントでは、ユニ・チャームの高原社長にご登壇いただきました。高原様の基調講演動画、講演抄録と渋澤との対談を弊社ウェブサイトにご紹介しておりますのでぜひこちらよりご覧下さい。

<基調講演動画><https://youtu.be/ArlDfLhwhcg>

<講演抄録>http://park.common30.jp/2017/03/blog-post_29.html

<高原×渋澤 対談>http://park.common30.jp/2017/03/blog-post_40.html



ここでは、ご参加頂いた皆さまからのお声を紹介したいと思います。

(講演を聴いて)自己実現という言葉初めて理解できました。「今日より明日まじな人間になる」強く心に刻まれました。ただの大企業から身近で応援したい企業に私の中で変わりました。コモンズさんを通してになります。微力ながら応援させていただきます。(男性・20代以下)

渋澤会長との息がぴったり。堅軟混えて台本通りでないQ&Aがよい。高原社長が飾らず本音で語っているので考えが伝わってくる。社員に対する深い思いやりを感じる。よい企業なのだろうと思う。"共生"などがキャッチーかつ心に残るフレーズは、社長の意思をストレートに表していると思います。(男性・40代)

不快を快に変えるというコンセプトがどの商品からも伝わってきます。また商品だけでなく雇用や社会貢献活動にも女性の地位向上に配慮されていることを知り、感動しました。共振経営、素晴らしいと思います。(女性・40代)

「コモンズ30ファンド」が掲げる”対話”の目的とは、投資先企業と受益者(お仲間)、そしてコモンズ投信が共に価値を創造することだと考えています。それは、受益者からお預かりした資金がコモンズ投信というフィルターを通してよりよい明日を目指す企業に投資され、それが企業の事業を応援することにつながります。そしてそれはいずれ、ファンドへのリターンのみならず、ユニ・チャームを例にとれば私たちにとってより快適な暮らしを実現してくれる、という形になって還ってきます。こうした循環により多くの方が加わっていただくことを私たちは目指していますし、そのための対話の場をこれからもより多く実現していきたいと思っています。

マーケティング部 福本 美帆

SEEDCap 応援先 3keysから嬉しいご報告が届きました！

3月21日、3keysは東京都から「認定NPO法人」の交付を受けました。

認定NPO法人とは、運営組織や事業活動が適正であって、公益の増進に資すると所轄庁から「認定」を受けたNPO法人を指し、認定NPO法人へのご寄付は、様々な税制優遇措置を受けることができます。例えば個人の方からの寄付の場合、年度末に確定申告をすることで、所得税・住民税と合わせ、最大で50%の税額控除が受けられます。

その他、法人・遺贈・相続でのご寄付や、領収証などにつきましてはこちらをご参照ください。<http://3keys.jp/koujo>

以下、3keysからのメッセージです。

3keysは、これまでたくさんの方々から支えていただいたおかげで、ここまで活動を続けることができました。あらためてお礼申し上げます。今後もひとりでも多くの、支援を必要とする子どもたちをサポートできますよう、引き続き応援していただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

また3月11日のコモンズ投信の周年イベントでの同団体代表理事森山さんのスピーチ動画を下記こちらからご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=eYhkiy09z1l&feature=youtu.be>

3keysの新規サポーターのお申込みはこちらから <http://3keys.jp/lp>



SEEDCap担当 馬越 裕子

お客さまの声

セミナー参加者からいただいたお声を紹介します。

「The 8th Commons Dialog～共に創る対話の時間～」に参加頂いた皆さまからいただいたお声を紹介します。



子どもセミナーも参加させていただきましたが、子供達も楽しそうに夢中になっていました。家族でこのような知的なイベントに来れて嬉しかったです。託児、ありがとうございます。



全体を通してコモンズ投信さんのポリシーやビジョンがまっすぐ、分かりやすく伝えられたと感じる1日でした。どのプログラムも興味深く聴かせて頂きました。ありがとうございます。元気をもらいました！



「コモンズ30ファンド」と「ザ・2020ビジョン」の違いが並行してみることでとても良くわかりました。どちらがいいかというのではなく、それぞれのメリットをうまく利用して資産活用をしていきたいです。

初めてイベントに参加させていただきました。いつもメルマガやブログ等で拝見しているのと違い、直接お話を聞くことができて改めて投資哲学を聞くことができ、自分の考えと一致していることを確認することが出来ました。



ファンドの投資についての考え方を丁寧に説明していただき、とても良くわかりました。長期的な視点で企業にがんばってもらうという(持続的な成長が見込まれる企業を選ぶ)考え方に納得しました。

Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
「普通の人」のための資産づくりのポイント（ファンド説明会）	4月9日（日）	14:00～16:00	東京都千代田区（コモンズオフィス）
	4月19日（水）	19:00～21:00	
【福岡】「コモンズ30ファンド」ファンド説明&運用報告会	4月15日（土）	16:30～18:00	福岡県博多区（AQUA博多）
【大阪】「コモンズ30ファンド」ファンド説明&運用報告会	4月22日（土）	16:00～17:30	大阪府大阪市（AP大阪淀屋橋）
【こどもトラストセミナー】 親子で学ぶおかねの教室「かきくけコモンズ」	5月14日（日）	10:00～11:30	東京都渋谷区（ウィズダムアカデミー恵比寿校）

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行(株) 登録金融機関	関東財務局長 (登金)第578号	○	○			
PWM日本証券(株) 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第50号	○				
楽天証券(株) 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
マネックス証券(株) 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)SBI証券 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
(株)秋田銀行 登録金融機関	東北財務局長 (登金)第2号	○				
(株)足利銀行 登録金融機関	関東財務局長 (登金)第43号	○	○			
(株)栃木銀行 登録金融機関	関東財務局長 (登金)第57号	○				
(株)横浜銀行 登録金融機関	関東財務局長 (登金)第36号	○	○			
(株)イオン銀行 登録金融機関	関東財務局長 (登金)第633号	○				
(株)北海道銀行 登録金融機関	北海道財務局長 (登金)第1号	○	○			
エース証券(株) 金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.242%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。 よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。 なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■ウェブサイト

<http://www.common30.jp/>